

38. 自然文化を楽しく学ぶ科

2022年度版

【木曜日 授業予定表】講師：菅井啓之・沖 和行・清水孝之・植松千代美・斉藤明子

					午 前		午 後			
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	8	金	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
	2	14	木	1	自然文化を味わうための自然の見方		菅井啓之① 元京都光華女子大教授	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明		
	3	21	木	2	身近な植物(春から夏編)	足もとをみつめよう	清水孝之(六甲山の自然を学ぼう会理事長/NHK文化講師)	合同オリエンテーション	(グループ分け)	
	4	28	木	3	森林文化(1)	社寺林から日本の森を考える	菅井啓之②	自主活動		
	5	12	木	4	★森林文化(2)	奈良春日山原始林の散策	菅井啓之③	午前の続き班自主活動		
	6	5	19	木	5/②	植物のちから①	植物と人とのつながり	沖和行①(植物案内人/元神戸薬科大学薬用植物園)	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
	8	26	木	6	★植物のちから②	神戸市立森林植物園	沖和行②	午前の続き班自主活動		
	9	9	木	7	樹(1)	巨樹・古木の意義を考える	菅井啓之④	自主活動		
	10	6	16	木	8	生きもの暦	季節の移ろいと生きものの活動	清水孝之②	自主活動	
	11	23	木	③	③遠 足 (1)					
	12	7	木	9	★自然観察(1)	都市公園での自然観察	菅井啓之⑤	午前の続き班自主活動		
	13	7	14	木	10	植物の不思議!	～在野の桜研究者・笹部新太郎と植物園の緑の桜「新錦」～	植松千代美(大阪市立大学理学部理学研究科准教授)	自主活動	
	14	21	木	11	身近な植物(秋から冬編)	足もとをみつめよう	清水孝之③	自主活動		
	8	夏 休 み								
2 学 期	15	15	木	12	植物のちから③	植物の生きるための理由	沖和行③	自主活動		
	16	9	22	木	13	★森と人とを繋ぐ 植物園の魅力と役割	都市に暮らす私たちにとって森や自然がなぜ、どのように大切なのか!	植松千代美	午前の続き班自主活動	大阪市立大学附属植物園内自然観察
	17	29	木	14	★植物のちから④	咲くやこの花館	沖和行④	午前の続き班自主活動		
	18	6	木	15	庭(1)	盆栽、水石の心	菅井啓之⑥	午前の続き自主活動		
	19	14	金	④	④コーダイジョイフルゲームズ (屋外でのジョイフルゲームズ。雨天中止)					
	20	20	木	16	★庭(2)	日本庭園に学ぶ(万博記念公園)	菅井啓之⑦	自主活動		
	21	27	木	17	自 主 (企 画) 講 座					
	22	10	木	18	★樹(2)	京都御苑を散策して樹木に親しむ	菅井啓之⑧	午前の続き班自主活動		
	23	11	17	木	⑤	⑤コーダイフェスタ (曜日別に実施)				
	24	24	木	⑥	⑥遠 足 (2)・・・(仮日程;2学期の何れかの日に各科で遠足日を設定)					
	25	1	木	19	植物好きの植物散歩と標本づくり②	周辺の植物解説と葉脈標本づくり	斉藤明子①	自主活動		
26	12	8	木	20	自然観察(2)	いのちを見つめる自然観察	菅井啓之⑨	自主活動		
28	15	木	21	樹木の特性を生かした生き残り戦略	種の分化の過程で生まれた個性を生かした戦略	清水孝之④	★②大阪城公園での観察会	清水孝之⑤		
冬 休 み										
3 学 期	29	12	木	23	自然観察(3)	微小貝から海を見つめる	菅井啓之⑩	自主活動		
	30	1	19	木	⑦	⑦社会への参加活動・・・(仮日程;1学期～3学期の間に活動日を1回設定)				
	31	26	木	24	植物のちから⑤		沖和行⑤	自主活動		
	32	2	木	25	日本の自然観の意義を考える					
	33	9	木	⑧	⑧・⑨修 学 旅 行(1泊2日)					
	34	2	10	金						⑨
	35	17	木	26	学 習 成 果 発 表 会		菅井啓之⑩-1			
36	17	木	⑩	修了式		菅井啓之⑩-2				
授 業(自主講座、成果発表会含む)					26(講座数列数値の1～26)		自主活動		20	
学 習 事 業(①～⑩)					10(講座数列数値の①～⑩)		★印は校外(教室不要)			
合 計					36					

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。